



根がない植物ってあるの

ワカメやコンブなどには根がない

植物の根の大切な役割は、まず、体に必要な養分や水分を吸い上げること、それから、植物の体を支えることなどになります。

ワカメやコンブは、岩にくっついている部分が、根のような形をしています。でも、これは体を支える役目だけしかしていません。これらの海そうは、海底の岩などにくっついて、海水中から、全身で養分や水分を吸収しています。ですから、形は根のようでも、根とはいえないのです。

ヤドリギなどは、寄生根をもつ

ヤドリギやネナシカズラなど、大きな木の枝の上に生えたり、幹にからみついたりしている植物があります。これらは、根がないように見えます。でも、よく調べてみると、ほかの木の幹や枝の中に、寄生根とよばれる根をさしこみ、その木の栄養分を吸い上げて、成長しているのです。

変わったはたらきをする根もある

サツマイモ、ニンジン、ダイコンなどは、根に栄養分をためたものです。かべをはい上げるツタは、ひっぱるとかべに吸いついた吸ばんのような根があるのがわかります。熱帯の木にくっついて生えているランの仲間には、空気中から水分を吸収する根をもつものもいます。（監修・矢野 亮）

